



2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月6日

上場会社名 株式会社プレミアムウォーターホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2588 URL <https://premiumwater-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)萩尾 陽平
 問合せ先責任者 (役職名)上級執行役員経営管理本部長 (氏名)清水 利昭 (TEL)03(6864)0980
 四半期報告書提出予定日 2020年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	27,158	23.5	2,128	175.7	1,912	229.7	1,113	161.2	1,113	161.3	1,112	152.1
2020年3月期第2四半期	21,992	20.7	772	34.1	580	12.4	426	162.4	426	162.5	441	181.5

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	39.30	36.24
2020年3月期第2四半期	15.03	13.82

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	48,605	7,972	7,955	16.4
2020年3月期	42,454	6,691	6,674	15.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する 当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	21.0	3,500	88.2	2,700	44.6	95.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	27,837,612株	2020年3月期	27,567,002株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	372株	2020年3月期	334株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	27,630,618株	2020年3月期2Q	27,431,605株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 上記のA種優先株式は、2017年9月に発行しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間においても、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せない状況にあり、消費者の生活様式や価値観は環境に応じて変化しつつあります。こうした状況下において当社グループでは、お客様に安心・安全で高品質な天然水を安定的に提供できる体制の構築に引き続き務めてまいります。

2020年5月の緊急事態宣言解除後、ショッピングセンター等の商業施設の営業が再開されました。そのため、当社の顧客獲得方法の一つであるデモンストレーション販売が、平時と同様の活動が行える水準まで回復したことに加え、テレマーケティング・Webによる新規顧客の獲得も第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から6月30日まで)に引き続き順調に推移いたしました。さらに、既存顧客の継続率の向上や顧客満足度向上のための各種付帯サービスの提供等も進めた結果、売上収益は27,158百万円(前年同期比23.5%増)となりました。

また当社では、7月から8月の間を夏商戦期間と位置づけ、新型コロナウイルス感染拡大の防止策を講じつつ、営業活動の積極的な展開や各種プロモーションを強化したことにより販売促進費用等が増加した一方、各工場設備の稼働率の向上等による製造原価の低減や物流費の安定化につながる物流網の構築等によって各種費用の低減に努めてまいりました。その結果、営業利益は2,128百万円(前年同期比175.7%増)となりました。

なお、税引前四半期利益は1,912百万円(前年同期比229.7%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,113百万円(前年同期比161.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び資本の状況

(資産)

資産は前連結会計年度末に比べて6,150百万円増加し、48,605百万円となりました。主な増加要因は、有形固定資産の増加1,840百万円及び新規契約の獲得に向けた各種営業費用の増加に伴う契約コストの増加1,547百万円であります。

(負債)

負債は前連結会計年度末に比べて4,869百万円増加し、40,633百万円となりました。主な増加要因は、新規獲得顧客へ貸与するウォーターサーバーの調達及び社債の発行に伴う有利子負債の増加5,364百万円であります。

(資本)

資本は前連結会計年度末に比べて1,280百万円増加し、7,972百万円となりました。主な増加要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の増加1,113百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)の残高は10,337百万円と前連結会計年度末(10,238百万円)に比べて99百万円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、3,987百万円と前第2四半期連結累計期間(2,962百万円)に比べて1,024百万円の増加となりました。この主な要因は、税引前四半期利益1,912百万円の計上及び資金の支出を伴わない減価償却費及び償却費3,396百万円等による資金の増加があった一方、契約コスト1,547百万円等による資金の流出があったことです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、2,875百万円と前第2四半期連結累計期間(642百万円)に比べて2,233百万円の増加となりました。この主な要因は、債務保証に係る保証金の預け入れによる支出2,000百万円が発生したことと、ウォーターサーバーの取得数の増加、工場関連設備の投資実施及び顧客管理システムの改修等に伴い、有形固定資産及び無形資産の取得による支出821百万円が発生したことです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は、1,017百万円と前第2四半期連結累計期間(2,479百万円)に比べて1,461百万円の減少となりました。この主な要因は、社債の発行による長期有利子負債の収入4,970百万円があった一方で、金融機関等への返済に伴う短期有利子負債への支出2,000百万円及び長期有利子負債の支出4,107百万円があったことです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2020年8月6日に公表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	10,238	10,337
営業債権及びその他の債権	5,369	6,186
棚卸資産	310	302
その他の金融資産	647	2,612
その他の流動資産	1,531	534
流動資産合計	18,097	19,974
非流動資産		
有形固定資産	13,638	15,479
のれん	149	149
無形資産	1,751	1,728
持分法で会計処理されている投資	26	38
その他の金融資産	555	680
繰延税金資産	1,735	2,511
契約コスト	6,487	8,034
その他の非流動資産	13	7
非流動資産合計	24,357	28,630
資産合計	42,454	48,605

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2020年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	7,602	8,083
有利子負債	9,695	8,212
未払法人所得税	904	1,674
その他の流動負債	688	366
流動負債合計	18,891	18,336
非流動負債		
有利子負債	16,534	21,899
引当金	145	210
繰延税金負債	22	10
その他の非流動負債	168	175
非流動負債合計	16,871	22,296
負債合計	35,763	40,633
資本		
資本金	4,046	4,112
資本剰余金	3,380	3,483
利益剰余金	△749	364
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	△2	△3
親会社の所有者に帰属する持分合計	6,674	7,955
非支配持分	17	16
資本合計	6,691	7,972
負債及び資本合計	42,454	48,605

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	21,992	27,158
売上原価	3,661	3,907
売上総利益	18,331	23,251
その他の収益	8	24
販売費及び一般管理費	17,564	20,917
その他の費用	2	230
営業利益	772	2,128
金融収益	8	11
金融費用	213	238
持分法による投資利益	12	11
税引前四半期利益	580	1,912
法人所得税費用	153	798
四半期利益	426	1,113
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	426	1,113
非支配持分	0	△0
四半期利益	426	1,113
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	15.03	39.30
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	13.82	36.24

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	11,400	14,096
売上原価	1,992	1,964
売上総利益	9,407	12,132
その他の収益	3	22
販売費及び一般管理費	9,076	11,011
その他の費用	0	9
営業利益	334	1,134
金融収益	3	△4
金融費用	93	128
持分法による投資利益	6	5
税引前四半期利益	250	1,007
法人所得税費用	△21	425
四半期利益	271	581
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	271	581
非支配持分	0	△0
四半期利益	271	581
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	9.37	20.50
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	8.62	18.82

要約四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	426	1,113
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	0	1
在外営業活動体の換算差額	13	△3
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	14	△1
税引後その他の包括利益	14	△1
四半期包括利益	441	1,112
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	441	1,112
非支配持分	0	△0
四半期包括利益	441	1,112

第2四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	271	581
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	0	0
在外営業活動体の外貨換算差額	5	0
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	5	0
その他の包括利益	5	0
四半期包括利益	276	582
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	276	582
非支配持分	0	△0
四半期包括利益	276	582

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額			
2019年4月1日	2,614	1,898	△2,616	△0	△3	1,892	17	1,909
四半期包括利益								
四半期利益(△は損失)	—	—	426	—	—	426	0	426
その他の包括利益	—	—	—	—	14	14	—	14
四半期包括利益合計	—	—	426	—	14	441	0	441
所有者との取引額等								
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
新株の発行(新株予約権の行使)	12	12	—	—	—	24	—	24
株式報酬取引	—	25	—	—	—	25	—	25
資本分類の変更	1,400	1,400	—	—	—	2,800	—	2,800
所有者との取引額等合計	1,412	1,437	—	△0	—	2,849	—	2,849
2019年9月30日	4,026	3,335	△2,190	△0	11	5,183	17	5,200

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 包括利益 累計額			
2020年4月1日	4,046	3,380	△749	△0	△2	6,674	17	6,691
四半期包括利益								
四半期利益(△は損失)	—	—	1,113	—	—	1,113	△0	1,113
その他の包括利益	—	—	—	—	△1	△1	—	△1
四半期包括利益合計	—	—	1,113	—	△1	1,112	△0	1,112
所有者との取引額等								
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0	—	△0
新株の発行(新株予約権の行使)	65	51	—	—	—	116	—	116
新株予約権の発行	—	3	—	—	—	3	—	3
株式報酬取引	—	48	—	—	—	48	—	48
所有者との取引額等合計	65	102	—	△0	—	168	—	168
2020年9月30日	4,112	3,483	364	△0	△3	7,955	16	7,972

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	580	1,912
減価償却費及び償却費	2,923	3,396
金融収益	△8	△11
金融費用	213	238
持分法による投資損益(△は益)	△12	△11
契約コストの増減額(△は増加)	△899	△1,547
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△208	△779
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	148	708
棚卸資産の増減額(△は増加)	△0	7
その他	456	331
小計	3,191	4,246
利息の受取額	1	2
利息の支払額	△178	△174
法人所得税の支払額	△52	△86
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,962	3,987
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	200	—
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△747	△821
貸付けによる支出	△33	△10
貸付金の回収による収入	13	76
敷金及び保証金の差入による支出	—	△2,129
その他	△75	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△642	△2,875
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期有利子負債の収支(△は支出)	—	△2,000
長期有利子負債の収入	1,200	4,970
長期有利子負債の支出	△3,703	△4,107
自己株式の取得による支出	△0	△0
新株予約権の行使による収入	24	116
新株予約権の発行による収入	—	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,479	△1,017
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△174	99
現金及び現金同等物の期首残高	6,734	10,238
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,560	10,337

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、ナチュラルミネラルウォーターの製造及び宅配形式による販売が主要な事業内容であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは単一となっております。

② 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

単一セグメントのため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり四半期利益及び算定上の基礎、希薄化後1株当たり四半期利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
(1) 基本的1株当たり四半期利益	15円03銭	39円30銭
(算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	426	1,113
親会社の普通株主に帰属しない金額(百万円)		
資本に分類される優先株式への配当(百万円)	14	28
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	412	1,085
普通株式の加重平均株式数(千株)	27,431	27,630
(2) 希薄化後1株当たり四半期利益	13円82銭	36円24銭
(算定上の基礎)		
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	412	1,085
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる金額(百万円)	412	1,085
普通株式の加重平均株式数(千株)	27,431	27,630
新株予約権による普通株式増加数(千株)	2,385	2,333
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる普通株式の加重平均株式数(千株)	29,817	29,964

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
(1) 基本的1株当たり四半期利益	9円37銭	20円50銭
(算定上の基礎)		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	271	581
親会社の普通株主に帰属しない金額(百万円) 資本に分類される優先株式への配当(百万円)	14	14
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる 金額(百万円)	257	567
普通株式の加重平均株式数(千株)	27,447	27,681
(2) 希薄化後1株当たり四半期利益	8円62銭	18円82銭
(算定上の基礎)		
基本的1株当たり四半期利益の算定に用いる 金額(百万円)	257	567
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる 金額(百万円)	257	567
普通株式の加重平均株式数(千株)	27,447	27,681
新株予約権による普通株式増加数(千株)	2,411	2,470
希薄化後1株当たり四半期利益の算定に用いる 普通株式の加重平均株式数(千株)	29,858	30,151

(重要な後発事象)

該当事項はありません。